

競技会参加にあたって

東北学生陸上競技連盟

I. 競技者

- ① **競技会 2週間前**から検温をし、指定の体調管理チェック表（ダウンロード）に記入し、受付時に提出する（代表者がまとめて提出）。提出しない競技者は、出場不可となる場合もある。

※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事。

- ・体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染か疑われる方がいる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 運動時以外(招集中・移動中・待機中を含む)のマスク着用(熱中症に注意)、競技終了後の手洗い・洗顔を徹底する。
 - ③ 3密回避行動を心掛ける。
 - ④ ウォーミングアップは、個別に行う。
 - ⑤ 競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をする。
 - ⑥ 更衣室の滞在は、短時間にする（シャワールームの使用を原則禁止とする）。
 - ⑦ 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
 - ⑧ 体液の付着したゴミは自己責任で処理する（基本的に持ち帰り）。
 - ⑨ 滑り止め(炭酸マグネシウム)は、各自準備する。
 - ⑩ **競技会終了後、2週間**は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

II. チーム関係者/スタッフ（指導者）・付き添い

- ① **競技会 2週間前**から検温をし、指定の体調管理チェック表（ダウンロード）に記入し、受付時に提出する（代表者がまとめて提出）。提出しない場合は、参加停止となる場合もある。

※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事。

- ・体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染か疑われる方がいる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスク着用（熱中症に注意）、手洗い・洗顔を徹底する。
 - ③ 3密回避行動を心掛ける。
 - ④ 声を出しての応援、集団での応援を行わない。
 - ⑤ 競技者に付き添う場合、競技者との接触、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。

- ⑥ 混雑を回避するため、競技者に付き添う者のウォームアップ場への立ち入りを最小限にする。
- ⑦ コーチがコーチ席から競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑧ **競技会終了後、2週間**は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること

Ⅲ.報道関係者

- ① **開催2週間前**の体調管理・検温の義務と体調管理チェック表（ダウンロード）の提出、及び**終了後2週間**の体調管理・検温を行う。

※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。

- ・体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染か疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 取材時はマスクを着用する。
 - ③ 会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心掛ける。
 - ④ 取材人数・取材方法・取材エリアを順守する。
 - ⑤ **競技会終了後、2週間**は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

上記の内容について、協力いただけない場合には、大会主催者が参加を断ることができる。